

令和3年度 第1回安曇野市博物館協議会 会議概要

1	会議名	令和3年度 第1回安曇野市博物館協議会
2	日時	令和3年5月18日 午前10時から午前11時40分まで
3	会場	安曇野市役所本庁舎 4階 大会議室
4	委員出席者	保科委員、百瀬委員、細野委員、宇田川委員、須之部委員、金井委員、笹本委員、伊藤委員、古川委員
6	事務局出席者	山下文化課長、豊科郷土博物館兼穂高郷土資料館原館長、豊科近代美術館荒深館長、田淵行男記念館兼飯沼飛行士記念館中田館長、高橋節郎記念美術館宮澤館長、貞享義民記念館寺島学芸員、臼井吉見文学館平沢館長、逸見博物館係長兼新市立博物館準備室長、松田新市立博物館準備室員、倉石新市立博物館準備室員、三澤文化振興担当係長、内山文化振興担当主任、植村文化振興担当主任
7	公開・非公開の別	公開
8	傍聴人	2人 (うち記者 1人)
9	会議概要作成年月日	令和3年5月25日

協 議 事 項 等

○会議の概要

1 開 会 (文化課長)

2 あいさつ

(教育長)

- ・昨年度は新型コロナウイルス感染症対策により各施設とも難しい運営を強いられた。
- ・しかしながら、この機会をチャンスと捉え、資料の整理や調査・研究を進める機会として、美術館学芸員等が協力して「安曇野風土記IV安曇野の美術」・「穂高の宝」と2冊の冊子を刊行し、非常に好評である。
- ・博物館・美術館を含めた市の施設の長寿命化計画の策定を準備している。第2次安曇野市文化振興計画、新市立博物館構想を進めるためにも、この協議会は重要な議論の場となる。
- ・引き続き、博物館活動が充実するよう、そして市民に愛される施設となるよう、ご意見をいただきたい。

(会 長)

- ・新型コロナウイルス感染症対策により各施設とも厳しい状況に置かれているが、いかにして乗り切っていくかが大きな課題である。
- ・安曇野風土記の刊行や学校ミュージアムの開催など、安曇野市の美術館・博物館は攻めの姿勢を取っており、非常に努力している。
- ・地域のため・子どもの将来のために、今後も頑張ってほしい。

3 辞令交付

- ・学校教育の関係者の人事異動に伴う補欠任命
(任期：前任者の残任期間である令和4年3月31日まで)

4 自己紹介

5 報告・協議

(1) 令和2年度各館事業報告(資料1)

- 委員 学校ミュージアムは、将来の子どもたちの美術館・博物館への入館に繋がるという期待を込めた素晴らしい企画である。一方で、美術館・博物館で積極的に質問をしてくれるのは中高年の皆さんであるので、中高年を楽しませる企画も重要と考える。
- 会長 自分以上の年齢で活発に地域活動をされている方が沢山いる。そんな方々が来館してくれるような施策を考える必要がある。
- 委員 子どもたちは自分の生活に直結することに興味を持ち夢中になる。安曇野市の美術館・博物館は、物事に対して興味を持つ切っ掛けを積極的に提供してくれている。この切っ掛けに子どもが興味を持ち、感じたことや考えを周りに発信することで、幅広い年代との繋がりが広がっていく。よって、身近なことに興味を持つ切っ掛けとなるような企画が重要だと考える。
- 会長 豊科郷土博物館では、この地域で生きる人々に分かるような、或いは分からなくても興味を持つ切っ掛けとなるような展示をしている。また、生活の中での当たり前のことを纏めた博物館ブックレット「安曇野に生きる」を刊行するなど、安曇野市の美術館・博物館は非常に努力していると感じる。この努力に対して行政はバックアップするべきだと、我々協議会は意見していかなければならない。
- 委員 安曇野風土記に関連する企画を検討してほしい。
各館で子ども向けのワークショップを増やして、子どものころから美術・芸術に触れることが重要であると考えます。
学芸員のスキルが非常に高いので、シンビズムのような学芸員発の企画を増やしたり、SNSを活用するなど、色々な企画を提案して頑張りたい。
- 会長 学校ミュージアムでは、作家が子どもたちの前で作品を制作したが、子どもたちが非常に興味を持ってくれた。美術館・博物館で良い企画を考えてもらうことは大切だが、我々協議会も企画を盛り上げていかないといけないだろう。
- 委員 「繋がり」という面で考えると、博物館とフィールドが繋がることが重要だと考える。国営アルプスあづみの公園にも、古墳や石切り場など学習の場が沢山ある。また、外来種の発生により数年で風景が変わってしまうこともある。博物館での学習と合わせて、フィールドとして国営アルプスあづみの公園を活用してほしい。
また、公園に植物を展示する際には、植物の履歴を大切にしている。なるべく公園の近くで採取したものを使うようにしている。豊科郷土博物館の友の会に山野草部があると知ったが、活動内容を知りたい。
- 会長 フィールドに出て学ばなければ、子どもたちが真の安曇野は分からないだろう。
フィールドと学校教育をどのように繋げるのか、教育委員会の示す方向性に期待する。収集した資料の履歴を把握することは、地域を知るための重要な素材となる。収集してある資料については、履歴を含めて説明できるようにすることが責務であると考えます。山野草部について、豊科郷土博物館に説明をお願いします。
- 豊科郷土博物館 友の会の中に山野草部があり、13～14名が所属している。安曇野の山野草の育て方などを情報交換している。
- 委員 昨年度は新型コロナウイルス感染症対策により学校が休校となった期間があっ

た。このような状況であっても、「学びを止めない」という考えのもと、ミュージアム動画の作成や出前講座のDVDを学校へ配布しており、学習に対して尽力していると感じた。今後も暫くこの状況は続くと思うので、学校への資料の貸し出しや解説キットの作成、学校の先生が学芸員に代わって説明できるようにするなどの工夫をしてはどうだろうか？これらの取り組みは、新型コロナウイルス感染症が終息した後でも役立つと考える。

ブックレット「安曇野に生きる」を地元の高校生に配布したり、授業で取り上げて貰うとよいのではないかな？

貞享義民記念館で行われた「来館者への対話型解説」が非常に好評だったようだ。簡単なことではないが、博物館として理想的なモデルだと思う。公民館への出前講座は市民と直結するため、より活発に行って欲しい。

会長 ブックレットに対する若い世代の観点を理解するとさらに良いだろう。学芸員は地域に文化を提供できる能力がある。これを活かす方法として公民館への出前講座は非常に有効的であるので、今後より力を入れると良いだろう。

委員 安曇野市では、美術館・博物館や行政が攻めの姿勢で学びの切っ掛けを提供してくれている。しかし、疑問点や関心があっても行動せず、学校や生徒の中で完結してしまっていることがある。学びや関心を留めないためには、学校ミュージアムのように、美術館・博物館の中に留まらず、提供したい・コラボしたい相手のフィールドに能動的に入っていくことが重要だと考える。

会長 本来であれば教育とは先生だけでなく地域の皆で作るものだ。学芸員だけでなく、安曇野の良さを知っている人がたくさんいるので、ぜひ教育に活用して欲しい。

委員 豊科近代美術館で催された「高田博厚展」は、新型コロナウイルス感染症対策に苦慮する状況ならではの時間の豊かさを利用した展示の切り替えであり、聡明さを感じた。

可能な範囲で10年・20年先を見越した、より長期的なプランを作成することが継続的・持続的にミュージアムを運営するうえで重要だと考える。

豊科郷土博物館の報告を見ると、このような状況でありながら出前講座を非常に多く行なっている。ミュージアムで働きたいと考える学生は多いが、未来の学芸員のために、働く職員から見て現在のミュージアムとはどのようなものなのか、今の職場がどのような形で機能しているのかを教えて欲しい。

貞享義民記念館では、松本城下町巡りなどを組み込みながら貞享騒動を文脈化している。松本市民からすると有難いことである。

会長 美術館・博物館に対する要望は多い。学芸員は長期的展望を持ちながら目の前の展示をしていかなければならない。協議会からの要望は多いが、要望を受ける館ではどのような環境なのか。

豊科郷土博物館 出前講座は例年より少ない。出前講座の方針として依頼は断らないこととしている。仕事の過多というとその通りではあるが、博物館で働くことを目指している人からすると魅力的かどうかは人それぞれである。我々は楽しんでやらせて貰っている。

会長 学芸員は非常に頑張っている。我々協議会は美術館・博物館や学芸員を応援しより良くするために頑張りたいと思う。

委員 感染症対策により規制されることが多いが、何もできないわけではない。バーチャル的な企画もよいが、自分の手で直接体験をしたいし、子どもにもさせてあげたい。このような考えのもと、友の会では前向きに頑張っている。

しかしながら、感染症対策による規制と関係なく友の会を退会する人がいる。理由は階段が登れないからである。市民にとって美術館・博物館は平等なものであるはずだ。安曇野市新市立博物館構想では、豊科郷土博物館は早期に最低限の改修が必

会 長	<p>要だとしてあるが進んでいないようである。高齢者や体の不自由な人が来館できるよう(施設面で)市に協力して欲しい。施設改修を計画的に進めてほしい。</p> <p>安曇野市新市立博物館構想の進捗に対して意見が少ないということは、美術館・博物館への意識が市民のものになっていないことを意味する。</p> <p>市民にとって美術館・博物館が誰でも活用できるものになっていないことは致命的であると、協議会で一致して市に対して意見をしていかなければならない。</p> <p>現実的で充実した議論ができた。安曇野市の美術館・博物館を善くしていくためには、我々協議会が頑張らないといけない。</p>
8 その他	
9 閉 会	
	以上

※会議概要は、原則として公開します。

※会議を非公開又は一部非公開とした場合は、その理由を記載してください。